

# 「幸せくるる御坊のお菓子」

## 土産品開発 20日発売へ

御坊市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく「わがまち魅力発信事業」の一環で、御坊商工会議所が委託を受け、御坊菓子工業組合（宮所忠喜会長）が開発した新たな土産品が出来上がり、15日にお披露目した。御坊日高地方の方言として残っている昔の京言葉「くるる」（くれる）からとった「幸せくるる御坊のお菓子」を統一テーマに5店舗が5つのキーワードに添った新作を作り、20日から発売する。

「学」「健」「金」「美」「結」の5つの「五望」をキーワードに▽ボナペティヤナギヤ「蘭」は「結」で名誉市民の和田勇氏をテーマに金山寺味噌入りのパイ菓子。商品名は「夢くるる」▽メルヘン「蘭」は「金」で日高別院太鼓楼をモチーフにしてクリームを挟んだクッキー。商品名は「太鼓楼」。郷土銘菓処ふく田「蘭」は「学」で御坊人形の天神をテーマにゴボウをあんに混ぜたまんじゅう。商品名は「紀州御坊の天神さん」▽湖月堂「蘭」は「健」で日高別院のイチヨウをイメージしたどら焼き。商品

名は「お美堂さん」▽幸栄堂「湯川町財部」は「美」で宮子姫をテーマに艶やかさをイメージした乳菓で



作ったまんじゅうを開発した。

5つのキーワードに添った5種類のお菓子を作ることで歴史や偉人、文化、名所など御坊の魅力を知ってもらうとともに、寺内町を散策しながら5店舗をすべて回り、それぞれの菓子を購入してもらいたいとの思いを込め包装紙も統一した。

基本的に各店でそれぞれの商品を1箱1000円、1500円、小袋500円、600円で販売する。御坊寺内町会館での販売を検討しているほか、イベント時には5つの商品を一つにした品物も販売する。18日、19日に和歌山市のホテルグランヴィア和歌山で開く全国商工会議所専務理事・事務局長会議で販売し、全国にPRする。

宮所会長は「御坊に行って幸せをもらえた」と言っていただけのように、御坊の良いところをキーワードにしたお菓子を作りました。今後も全国に御坊の魅力、良さを伝えられるように頑張りたい」と話した。

平成29年5月16日(火) 紀州新聞